

やとみのよさん



令和6年度弥富市当初予算のあらまし



弥 富 市

予算の概要



予算って何？

市（市役所）は、市民の皆さんが安心して快適な生活を送ることができるように、皆さんの生活に関わるいろいろな仕事をしています。戸籍や住民票等の発行、税金の収納、道路や公共施設の補修・維持管理、防災・減災対策、学校や保育所の運営、保険・年金・福祉・医療事業、ごみの収集・処分など、その内容はさまざまです。

市がこのような市民サービスや各種施策を実施するのに必要なお金をどこからどれだけ得て、何にいくら使うのか計画すること、これが予算です。

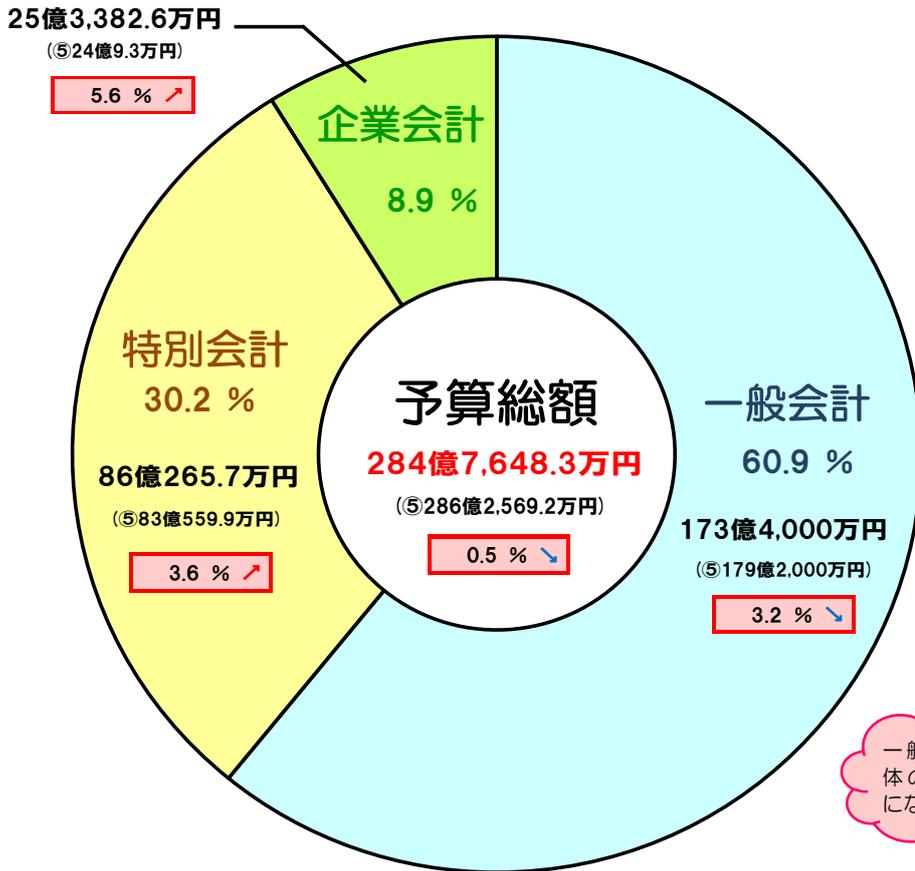


予算っていくらなの？

令和6年度の当初予算の総額

284億7,648.3万円

※一般会計、特別会計、企業会計の合計



Dictionary

当初予算とは、その年度（4月～3月）1年間の予算を最初に決めたものをいいます。これに対して、年度の途中で当初予算が足りなくなったり、余ったりした場合や当初予算にないお金が必要になった場合などに、当初予算を変更するものを**補正予算**といいます。



Dictionary

会計とは、お金の出し入れをする“財布”のようなものです。市の会計は、内容によっていくつかの種類に分けられていて、皆さんが市に納める税金や国・県からの交付金などを使うものを**一般会計**といい、市の仕事を行う上での基本的な会計です。これに対して、皆さんにお支払いいただく保険料で療養費の給付などの保険事業を行うように、そのお金の使い道が決まっているものを**特別会計**、民間企業と同様に皆さんにお支払いいただく料金収入などにより運営するものを**企業会計**といい、一般会計とは区別されます。



特別会計・企業会計ってどんなものがあるの？

区 分	予 算 額	増 減
土地取得特別会計	150.7万円 (⑤372.9万円)	59.6% ↓
国民健康保険特別会計	39億2,862万円 (⑤39億1,168万円)	0.4% ↑
後期高齢者医療特別会計	8億5,153万円 (⑤7億1,389万円)	19.3% ↑
介護保険特別会計	38億2,100万円 (⑤36億7,630万円)	3.9% ↑
特別会計合計	86億265.7万円 (⑤83億559.9万円)	3.6% ↑
下水道事業会計	25億3,382.6万円 (⑤24億9.3万円)	5.6% ↑
企業会計合計	25億3,382.6万円 (⑤24億9.3万円)	5.6% ↑



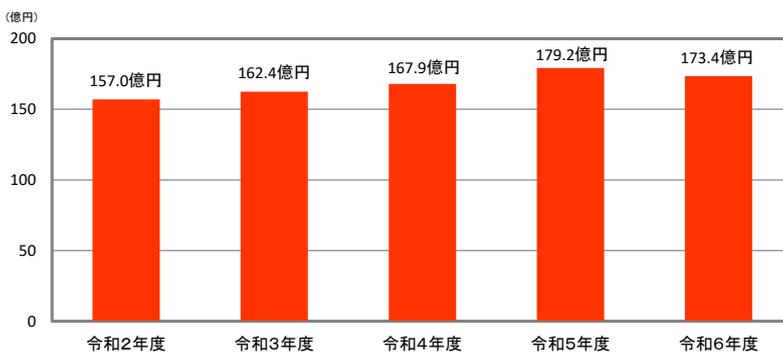
予算ってどうやって決まるの？

予算は、市長が予算案を作成して議会に提出し、議会での審議を経て、議決されることにより成立します。予算が成立してはじめて、市は市民サービスや各種施策を行うための費用を支払うことができるようになります。



これまでとどのくらい違うの？

最近5年間の一般会計当初予算額の推移



令和6年度の一般会計の予算は、最近5年間で2番目に大きい予算なんだね。



一般会計の歳入と歳出

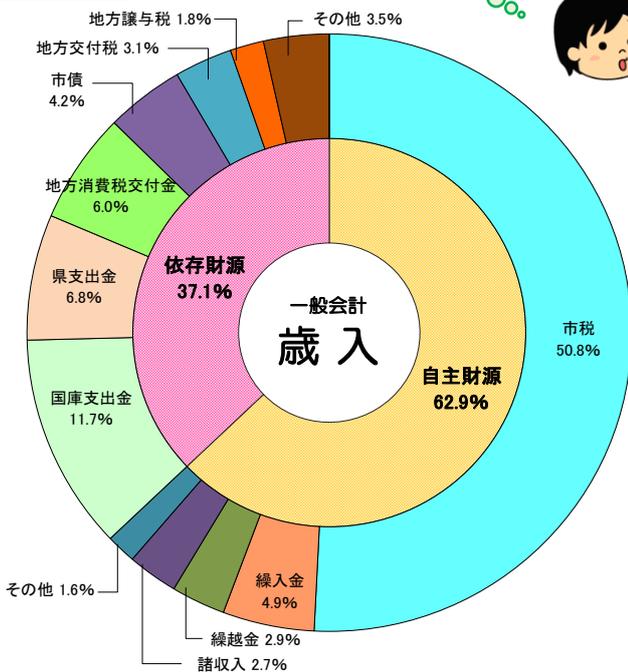


歳入と歳出って？

家庭では、給料や事業利益などの収入を得て、ここから生活に必要な費用を支出します。この家庭での収入と支出が市での歳入と歳出です。つまり、市が仕事をするために、得るお金が歳入、使うお金が歳出です。

一般会計の歳入には、市民の皆さんに納めていただく税金のほか、国・県からの交付金や補助金、借入金、皆さんが施設等を利用した際に負担していただく使用料や手数料などがあります。市はこの歳入のお金を使って、まちづくりや市民サービスに関する各種事業（歳出）を行います。

歳入

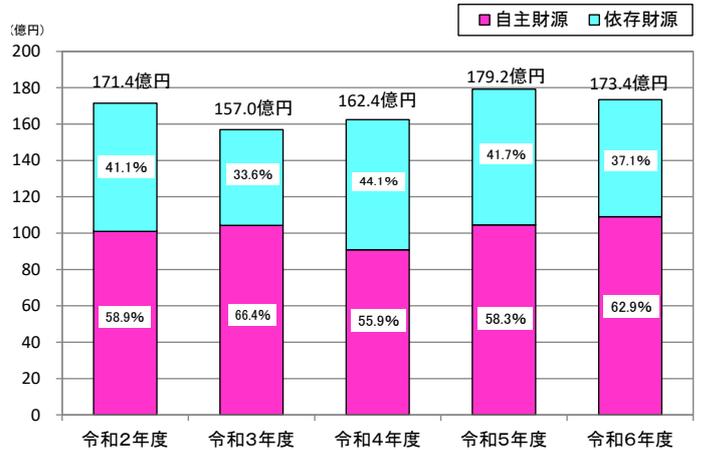


弥富市の自主財源比率は、毎年だいたい6割ってとこだね。



自主財源と依存財源の割合の推移

※当初予算額での比較



Dictionary

歳入総額に占める自主財源の割合を**自主財源比率**といいます。自主財源比率が高いほど、財政状況が安定しているといえます。

市の歳入って、市民が納める税金以外にも、こんなにたくさんあるんだね。



市税は歳入全体の約半分。国や県からもらうお金や市債などの依存財源は4割程になるんだよ。



その年に実施する事業によって、国や県支出金、市債の金額が増減するんだよ。

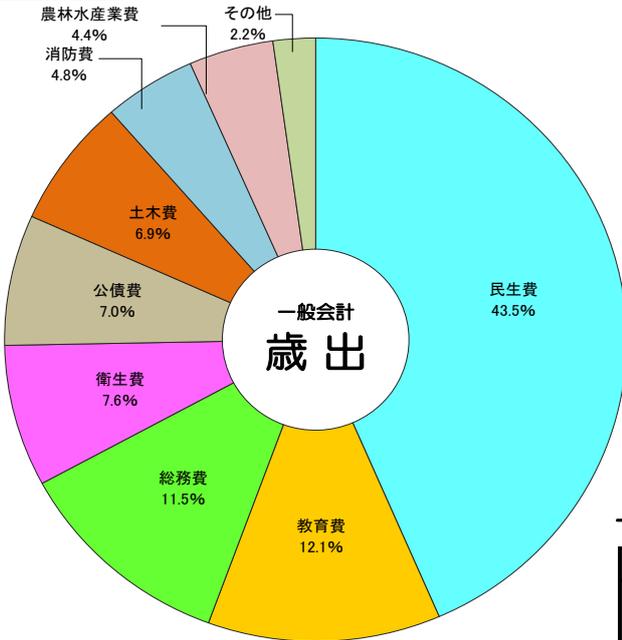


一般会計 歳入内訳

区分	予算額	増減	説明
自主財源	108億9,954.4万円 (5104億5,571.8万円)	4.2% ↑	市が自主的に収入するお金
市税	88億817万円 (586億7,694.8万円)	1.5% ↑	固定資産税、市民税、市たばこ税、軽自動車税、入湯税
繰入金	8億4,403.3万円 (56億2,053.6万円)	36.0% ↑	積立金の取崩しや特別会計から一般会計に移動させたお金
繰越金	5億円 (55億円)	0.0% →	前年度の予算の余りを翌年度に持ち越したお金
諸収入	4億6,700.8万円 (53億7,793.7万円)	23.6% ↑	預金利子、延滞金 など
その他	2億8,033.3万円 (52億8,029.7万円)	0.0% ↑	土地の貸付けなどによる財産収入、分担金や負担金 など
依存財源	64億4,045.6万円 (574億6,428.2万円)	13.7% ↓	国や県からの交付金・補助金などのお金
国庫支出金	20億2,194.1万円 (523億9,723.9万円)	15.7% ↓	特定の事業のために国から交付されるお金
県支出金	11億7,708.3万円 (511億9,254.2万円)	1.3% ↓	特定の事業のために県から交付されるお金
地方消費税交付金	10億3,400万円 (511億円)	6.0% ↓	国が徴収した地方消費税の中から、市に交付されるお金
市債	7億3,090万円 (515億7,280万円)	53.5% ↓	国や金融機関などから借入のお金
地方交付税	5億3,500万円 (55億1,400万円)	4.1% ↑	国が徴収した税金(所得税など)の中から、市の財政状況に応じて交付されるお金
地方譲与税	3億1,320万円 (53億770万円)	1.8% ↑	#N/A
その他	6億2,833.2万円 (53億8,000.1万円)	65.4% ↑	上記以外で国や県からもらうお金
合計	173億4,000万円 (5179億2,000万円)	3.2% ↓	



歳出



民生費が一番大きくて、歳出全体の4割くらいを占めているね。



高齢者や児童、障がい者の福祉だったり、子育て支援なんかがあるからなあ。やっぱり福祉には、たくさんお金が必要なんだね。

一般会計 歳出内訳

区分	予算額	増減	説明
民生費	75億3,452.8万円 (573億4,280.9万円)	2.6% ↑	社会福祉や生活扶助などに
教育費	20億9,345.1万円 (521億9,557万円)	4.7% ↓	教育や文化、スポーツの振興などに
総務費	19億8,480.5万円 (519億7,107.6万円)	0.7% ↑	市のさまざまな総合運営などに
衛生費	13億1,383.2万円 (514億3,315万円)	8.3% ↓	ごみの処理、保健衛生などに
公債費	12億1,791.4万円 (512億1,278.6万円)	0.4% ↑	市の借金返済に
土木費	11億9,202.2万円 (517億4,771.2万円)	31.8% ↓	道路の整備・管理などに
消防費	8億3,699万円 (57億6,522.2万円)	9.4% ↑	消防、災害対策などに
農林水産業費	7億7,002.1万円 (58億8,706.9万円)	13.2% ↓	農業振興、土地改良事業などに
その他	3億9,643.7万円 (53億6,460.6万円)	8.7% ↑	議会運営、商工観光などに
合計	173億4,000万円 (5179億2,000万円)	3.2% ↓	



難しい用語も、家計に置き換えてみるとわかりやすくなるね。

市民1人あたりの歳入・歳出の額

歳入

市民1人あたりが負担する税額

固定資産税 <small>土地や家屋、償却資産(事業用資産)にかかる税</small>	124,718円 (54億5,117万円)
市民税 <small>個人の所得や法人の収益に対してかかる税</small>	66,446円 (29億420万円)
市たばこ税 <small>たばこの消費に対してかかる税</small>	7,550円 (3億3,000万円)
軽自動車税 <small>軽自動車、自動二輪車などに対してかかる税</small>	2,780円 (1億2,150万円)
入湯税 <small>温泉に入るときにかかる税</small>	30円 (130万円)
合計	201,524円 (85億817万円)

歳出

市民1人あたりに使われる金額

民生費	172,383円 (75億3,452.8万円)
教育費	47,896円 (20億9,345.1万円)
総務費	45,411円 (19億8,480.5万円)
衛生費	30,059円 (13億1,383.2万円)
公債費	27,865円 (12億1,791.4万円)
土木費	27,272円 (11億9,202.2万円)
消防費	19,150円 (8億3,699万円)
農林水産業費	17,617円 (7億7,002.1万円)
その他	9,070円 (3億9,643.7万円)
合計	396,723円 (173億4,000万円)

※ 金額は、それぞれの予算額(カッコ内の額)を令和6年1月1日住民基本台帳人口の43,708人に割ったものです。

一般会計を家計に当てはめると...

年間の収入総額を500万円として計算

歳入

家計	市の予算
給料などの基本的な収入	310.9万円
親などからの援助	107.7万円
パート・家賃収入など	21.6万円
預金の引き出し	24.3万円
前年の残金	14.4万円
金融機関からの借り入れ	21.1万円
合計	500万円

市の予算	割合
市税、地方譲与税、交付金など	107億8,370.2万円 (62.2%)
地方交付税、国・県支出金	37億3,402.4万円 (21.5%)
分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入など	7億4,734.1万円 (4.3%)
繰入金	8億4,403.3万円 (4.9%)
繰越金	5億円 (2.9%)
市債	7億3,090万円 (4.2%)
合計	173億4,000万円 (100.0%)

歳出

家計	市の予算
食費・日用品などの生活費	194.5万円
医療費・教育費など	101.9万円
ローンの返済	35.1万円
家屋や家電品などの修理	4.2万円
子どもへの仕送りなど	117.6万円
家屋の増改築・車の購入など	45.8万円
貯金	0.9万円
合計	500万円

市の予算	割合
人件費、物件費	67億4,625.7万円 (38.9%)
扶助費	35億3,250.6万円 (20.4%)
公債費	12億1,791.4万円 (7.0%)
維持補修費	1億4,676.8万円 (0.8%)
補助費等、貸付金、繰出金など	40億7,642万円 (23.5%)
投資的経費	15億8,923.4万円 (9.2%)
積立金など	3,090.1万円 (0.2%)
合計	173億4,000万円 (100.0%)

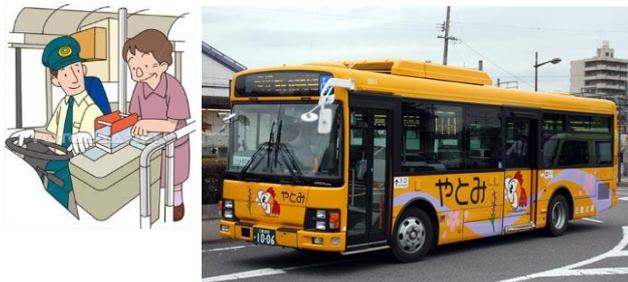
令和6年度の主な施策

交通対策事業

コミュニティバス運行事業〈継続〉

1億1,888万円

市民の通学、通勤、通院、買物など生活のための移動手段の確保、公共交通空白地域の解消を目的として、北部・南部・東部の3ルートを中型バス2台・マイクロバス3台でコミュニティバスを運行します。



福祉関連事業

子ども医療費助成事業〈拡充〉

2億5,722.5万円

「子育てするなら弥富市へ」をスローガンに掲げ、定住者の増加を図るため、高校生世代までの子どもの医療費にかかる自己負担額を全額助成します。また、令和6年度から通学のために市外へ転出した子どもも対象とします。



衛生関連事業

予防接種委託事業〈継続〉

2億4,397.3万円

B型肝炎、小児肺炎球菌、5種混合、BCG、MR、水痘、日本脳炎、2種混合、ロタウイルス、子宮頸がん、成人男性の風しんの定期接種に対して全額公費負担します。また、新型コロナウイルスワクチン、高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌や定期接種以外の子ども及び妊婦インフルエンザ、おたふくかぜに対して公費援助します。



産業振興事業

農業振興事業〈継続〉

野菜集団産地整備事業	1,436.8万円
生産調整推進対策事業	4,142万円
土地改良区補助事業	1億477.5万円
経営体育成基盤整備事業	2,150万円
地盤沈下対策事業	3,824万円
特定農業用管路特別対策事業	1,132万円
緊急農地防災事業	3,937.8万円
多面的機能支払事業	1億4,092.4万円

効率的な営農に向けて、土地利用の適正な管理や担い手への農地集積・集約化の推進に取り組むとともに、収益力向上を図るため農業者等の支援を行います。また、農地や農業用施設等の湛水被害を未然に防止するため、農地防災事業を推進します。





産業振興事業

飲食店等創業支援事業〈新規〉

1,000万円

市内で新たに飲食店等を創業し、弥富市商工会と連携して本市の商業の振興及び健全な発展並びに賑わい創出に資する活動を行う事業者を支援します。



生活基盤整備事業

公共下水道事業〈継続〉

8億1,800万円

市街化区域及び人口集中地域を重点整備区域として、効率的な整備と事業のコスト縮減の取り組みを進めることとし、佐古木地区・鯛浦地区・五明地区・五之三地区の整備を進めます。



教育環境等整備事業

スクールカウンセラー配置事業〈拡充〉

2,249.2万円

学校を巡回し、児童・生徒、保護者及び教職員の小さな心の変化に気づき、心のケアを行うスクールカウンセラーを配置します。令和6年度は、中学校の毎日相談できる体制に加え、小学校での相談体制を学校規模に応じて週1回から3回程度の実施ができるよう拡充します。

また、「学校と異なる場所」で「授業のない日」に気軽に相談できるよう、令和5年度に試行的に実施していたやとみ子ども相談室『カラフル』における相談支援を月2回の体制で本格実施します。



教育環境等整備事業

弥富北中学校長寿命化改良事業〈継続〉

4億4,894.3万円

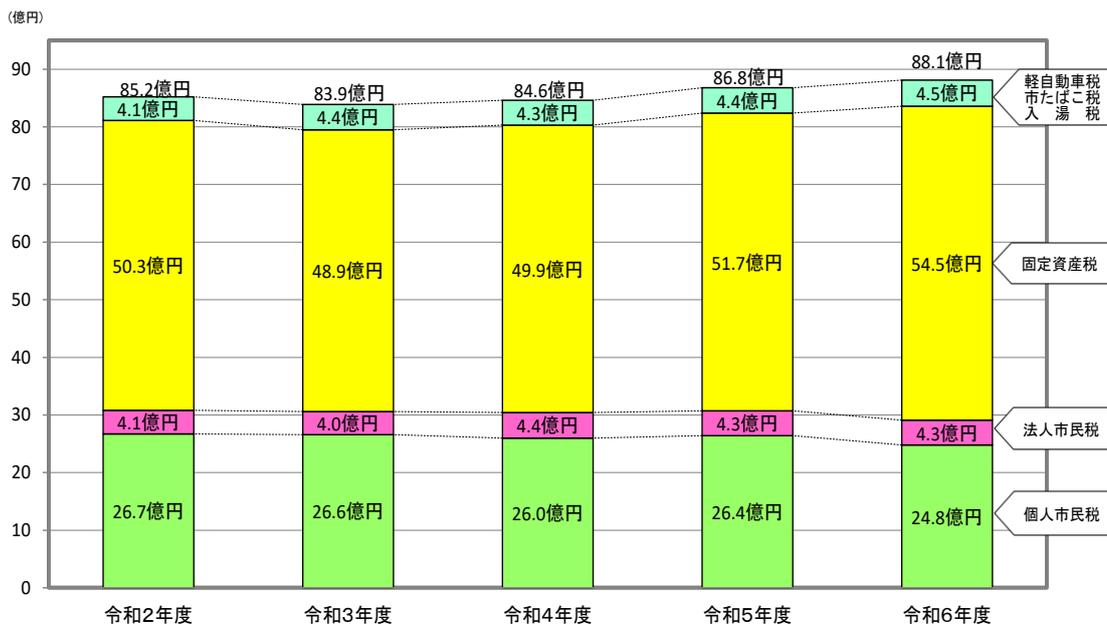
学校の老朽化に対して、コストを抑えながら建て替え同等の教育環境を確保するため、国の補助金を利用し、既存施設を今後30年以上使用することを前提に、校舎及び屋内運動場等の構造体の補修、インフラの更新や照明のLED化など長寿命化改良工事を令和5年から令和6年までの2か年で実施します。

(弥富北中学校校舎外観)



参考資料

市税収入の推移



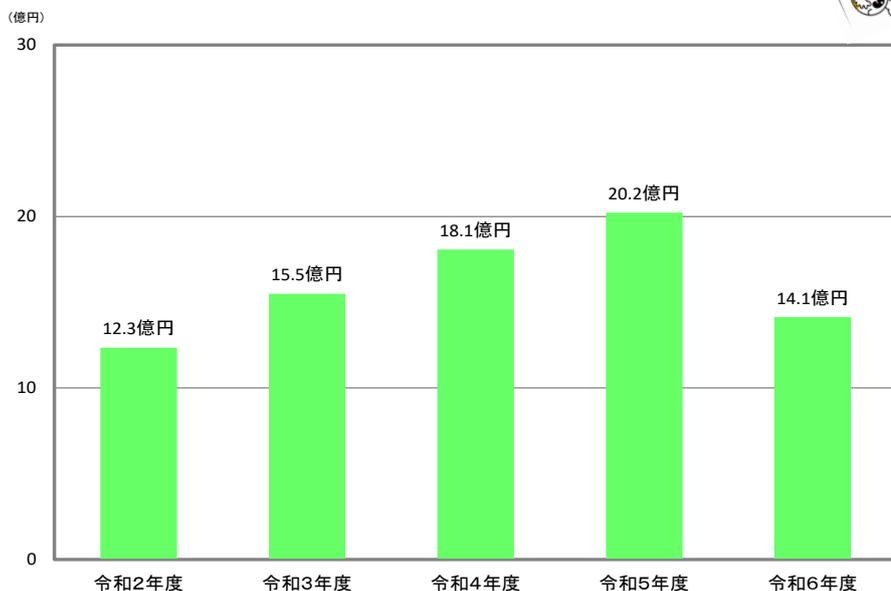
市民の皆さんからお預かりした大切なお金を、市民サービスや各種施策に有効に活用していきます！



市税の中では固定資産税が一番大きくて、全体の約6割を占めているんだね。



財政調整基金の年度末残高の推移



Dictionary

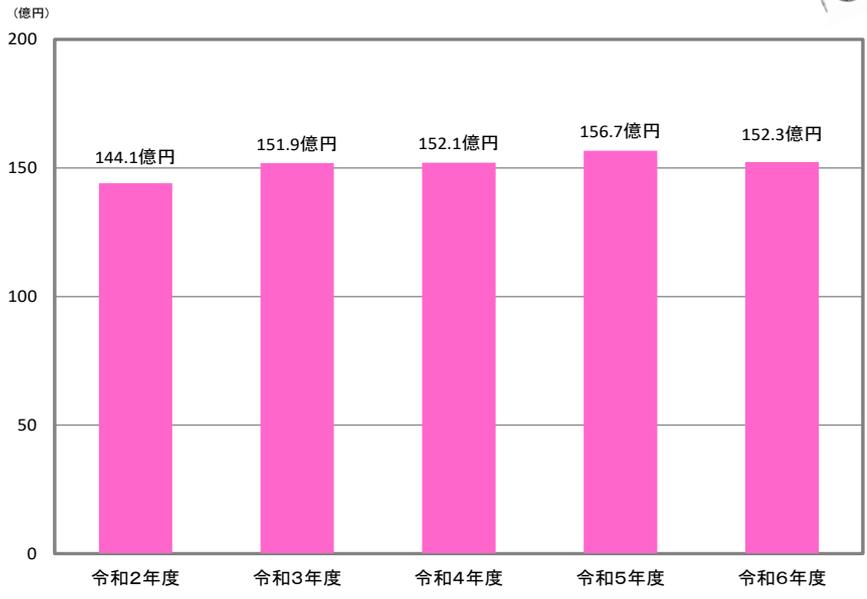
地方公共団体が特定の目的のために積み立てた資金や資金運用のために設けた財産を**基金**といいます。**財政調整基金**は、社会の不況で税収が大幅に減ったり、災害が発生して急にたくさんのお金が必要になった場合などに備えて積み立てている市の**貯金**です。

家庭と同じように、市もいざというときのために、貯えが必要だね。





市債（一般会計分）の年度末残高の推移



Dictionary
 地方公共団体が資金調達のために、国や金融機関などから借りたお金（債務）を**地方債**といい、市が借りたものが**市債**です。この地方債は、何年もの長い期間をかけて返済していくもので、借りた年度内で返済するもの（一時借入金）は含みません。地方債は、お金の使用目的などによって、たくさんの種類があり、その借入先もさまざまです。

市債で借入れをする大きな理由としては、“**毎年の財政負担を平均化すること**”と“**現在と将来の市民の負担を公平にすること**”が挙げられるよ。

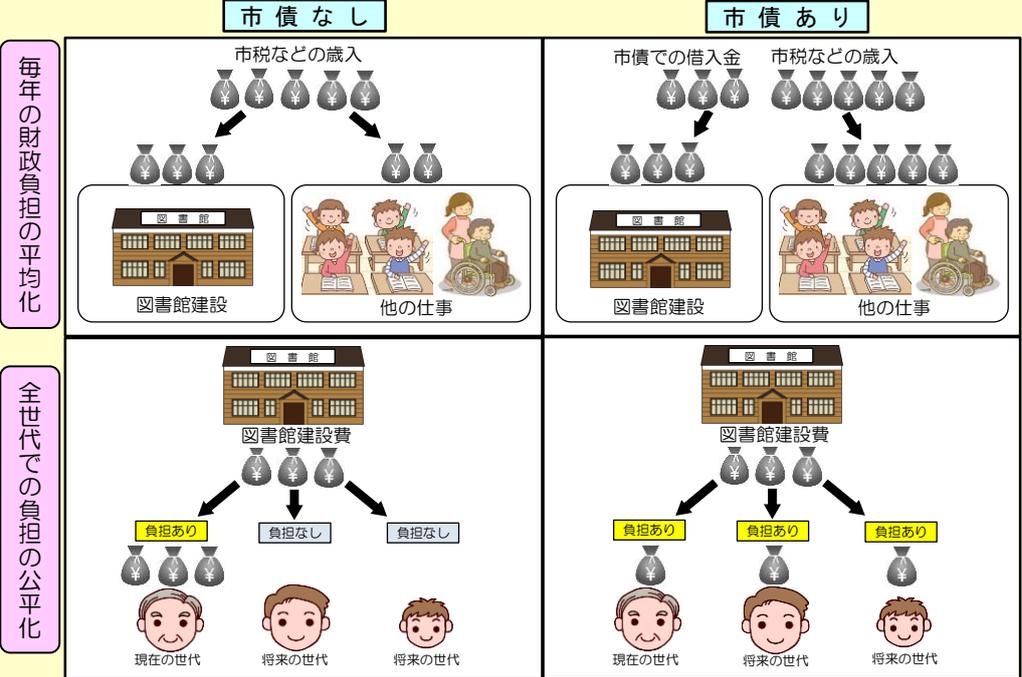


どうして借金をしなければならないの？



市債で借金をすると…

例えば、市が今年度、新しい図書館を建設するとします。大規模な公共施設の建設ですので、当然、多額の費用がかかりますし、建てた図書館は、この先何十年と市民の皆さんに使っていただくこととなります。この建設費を、市債での借入れをせずに、市税などの歳入だけで今年度すべて支出することとすると、その分、他の仕事にお金がまわらなくなり、必要な市民サービスの提供に支障を来すこととなります。また、現在の市民が費用を全額負担することになるため、将来の市民は負担なしで使用することになり、世代間の不公平が生じます。そこで、市債での借入れを行い、20年・30年といった長期間にわたって返済することによって、他の仕事に影響がないようにするとともに、現在の市民から将来の世代の市民までが平等に建設費を負担するようにしています。





編 集	愛知県弥富市総務部財政課
発行年月	令和6年3月
所 在 地	愛知県弥富市前ヶ須町南本田335
電 話	0567-65-1111(代表)